

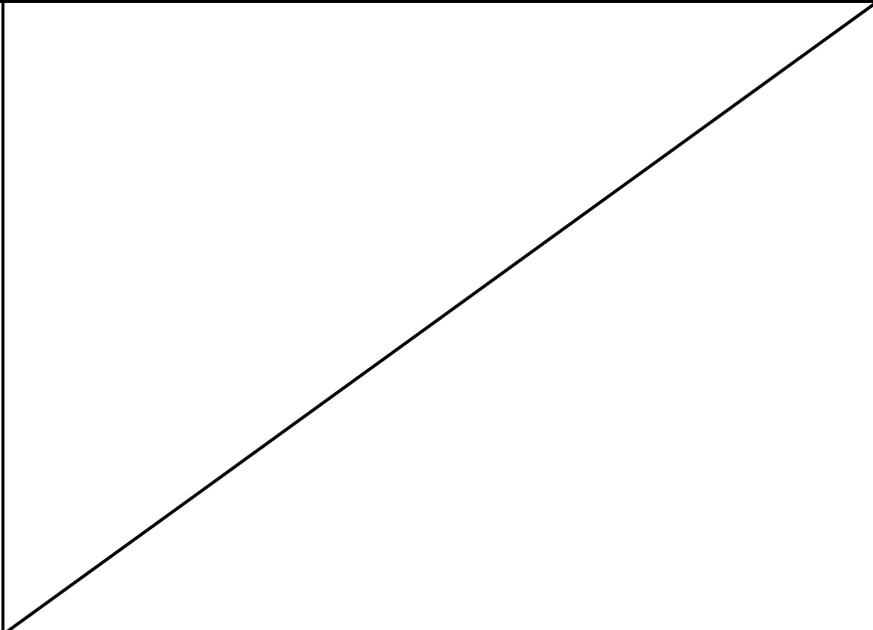
【充実した議会運営のあり方について】

○議論経過が明確になる議会運営

・議員間討議

宝塚市	会津若松市	函館市議会が確認した本来のあり方
<p>&lt;委員会の進め方&gt;</p> <p>①委員会開催前までに会派で論点整理</p> <p>②説明員から議案説明</p> <p>③委員会として論点整理</p> <p>④整理した論点に基づいて質疑・自由討議</p> <p>⑤討論・採決</p>	<p>&lt;委員会の進め方&gt;</p> <p>①委員会開催前までに個々の議員による課題・論点の洗い出し</p> <p>②委員会として論点抽出・整理</p> <p>③論点を踏まえた説明員への質疑</p> <p>④論点再整理・議員間討議</p> <p>⑤討論・採決</p>	<p>別添① 3、15ページ</p> <p>別添② 7、8、20、21ページ</p>

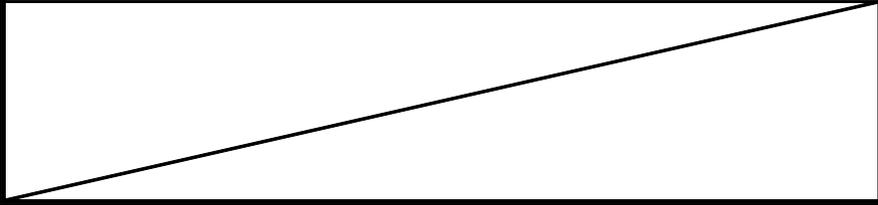
・委員会での議案審査を行った後に一般質問を行う

宝塚市	会津若松市	函館市議会が確認した本来のあり方
<p>&lt;本会議の流れ&gt;</p> <p>①本会議で提案説明・議案付託</p> <p>②委員会で議案審査・採決</p> <p>③一般質問</p> <p>④本会議で委員長報告・採決</p> <p>&lt;導入理由&gt;</p> <p>・平成19年3月策定の函館市議会議会改革報告書における「議会の機能と権限を十分発揮するため、議案審査の手続きの一環である質疑と議案にかかわらず行える一般質問を明確に区分することとする。」を見て検討した結果である。</p> <p>・重要議案を一般質問で取り上げる事例があったが、委員会で、修正等行うべきであり、審査を先にすることで、審査日程の追加がしやすく、常任委員会の議論を深めることができる。</p> <p>・まず市民生活に結果が響く議案に全力投球し、個々の議員が課題としているものなどは、一般質問で取り上げていく方が合理的である。</p>		<p>別添① 11ページ</p> <p>別添② 7ページ</p>

・反問権の付与

宝塚市	会津若松市	函館市議会が確認した本来のあり方
<p>・市政上の論点をわかりやすく、明確にするため議員の質疑や質問に対する反問権を市長等執行機関の長および職員に認めている。</p>	<p>・反問は、あくまで議員の質問に対し、不明な点(趣旨、根拠等)を逆質問することであるとの見解に立っている。                      ・会津若松市では、反問権として                      ①質問の趣旨・内容の確認                      ②質問の背景・根拠の確認                      ③代替案の提示要求                      の3つを検討し、②までを反問権として定義している。</p>	<p>別添① 13ページ</p>

・予算決算常任委員会の設置

宝塚市	会津若松市	函館市議会が確認した本来のあり方
	<p>・議案の常任委員会への分割付託は議案一体の原則に反することから、予算決算常任委員会を設置した。                      ・審査は、各常任委員会を分科会として行っている。                      ・分割付託では、修正案の提出が不可能であった。</p>	<p>別添① 15ページ</p>

・議会活動の見える化

宝塚市	会津若松市	函館市議会が確認した本来のあり方
	<p>議会活動の範囲及び議員活動についてを定義づけることで、どういった活動がどの程度行われているかを数値化し、議会活動の見える化を進めた。 その必要性については、下記のとおりまとめられている。</p> <p>□「議員活動と議員定数等との関連性及びそれらのあり方」最終報告 第12 4最終報告の確認(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政運営や一定の政策課題については成果をあげているが、そのような成果は一般にはわかりにくく、かつ、見えにくいことが、厳しい声が多い原因になっていると考えられる。</li> <li>・市民からの評価が低いということは、市民の目線から見て議会機能や議員活動がまだまだ低い水準にとどまっているということである。</li> <li>・見えにくいとされる議会活動及び議員活動について、その内容や成果をよりわかりやすく説明していくことが必要である。</li> </ul> <p>第12 5今後の取り組みの方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員活動の範囲・量や議会機能の維持・向上策等について、より多くの市民の皆さんのご理解が得られるよう、議会活動や議員活動の「見える化」を進めることが求められる。</li> </ul>	<p>別添① 4ページ</p> <p>別添② 10、20ページ</p>